

橋めぐりコース① (白鬚橋~吾妻橋)

7.2km 108分 324kcal 10,286歩 (①+②)



白鬚橋 竣工：昭和6年

「明治通り」にあり、橋名は墨田区にある白鬚神社に由来している。初めて架橋されたのは1913年(大正3年)。隅田川では、最も古い渡し舟と言われている「橋場の渡し」のあった場所で、平安時代の歌人である在原業平(ありわらのなりひら)が渡ったとも言われている。

桜橋 竣工：昭和60年

台東区と墨田区の姉妹提携事業として1985年(昭和60年)に完成したX型の橋で、隅田川唯一の歩行者専用橋である。春には両岸の隅田公園に見事な千本桜が咲き、たくさんの花見客でにぎわいを見せる。

言問橋 竣工：昭和3年

「言問通り」に接しており、橋名は、在原業平の「名にし負はば いざ言問はむ都鳥 わが思ふ人はありやなしやと」の歌に由来すると言われている。かつて、この橋の上流には「竹屋の渡し」、下流には「山の宿の渡し」(別名：枕橋の渡し)と呼ばれた渡し舟があった。

吾妻橋 竣工：昭和6年

「雷門通り」にあり、江戸時代に隅田川で架橋された最後の橋である(1774年/安永3年)。当初、大川橋と呼ばれていたが、1876年(明治9年)の架け替えの際に吾妻橋と改名された。かつては、この辺りに「竹町の渡し」と呼ばれた渡し舟があった。

※竣工年月は現在の橋のものです。

